

地方創生関連事業の進捗状況について

令和5年9月定例会決算審査特別委員会
みらい創造課

新発田市総合戦略に基づき、デジタル田園都市国家構想交付金等を活用した事業の進捗状況等（重要業績評価指標（KPI）など）について報告します。

地方創生推進タイプ（旧：地方創生推進交付金）

事業①	オーガニック SHIBATA プロジェクト		担当課	農林水産課、商工振興課
計画期間	令和4年度～令和6年度（3か年）	関連事務事業	地域農産物等ブランド化推進・輸出促進事業、有機農業産地づくり推進事業、SHIBATA ブランディング推進事業	
事業概要	<p>新型コロナ感染拡大による外食需要の低迷等により、米、和牛、イチゴの価格下落の課題がある中で、国内・国外で優位性をとれるブランド力が求められている。そこで、安心・安全・健康などをキーワードとしたオーガニック米の生産体制の確立やオーガニック米を原料とした加工品などの製造、既存商品の改良、低糖質化などを行い、海外市場の要望に応えられる商材づくりを支援する。</p> <p>また、新発田牛・越後姫では海外の外食店をターゲットとしてプロモーションを展開し、販路を開拓するとともに、バイヤーを招聘した商談会、各店舗による物産展開催のほか、EC サイトでの販促やふるさと納税返礼品での活用なども行うことで国内市場においても販路拡大策を実施する。</p>			
実施概要 (実績)	R4 年度	R5 年度		R6 年度
	<p>オーガニック米栽培に向けた技術習得研修や除草ロボットの研究、オーガニック米を使用した低糖質商品の開発、越後姫消費拡大に向けたキャンペーンの実施、新発田牛の県外 PR、コシヒカリ・越後姫・新発田牛の海外への輸出プロモーション、市内店舗と連携した「しばた大物産展」の開催</p>			

重要業績評価指標 KPI (数値目標)	基準値	R4 年度		R5 年度		R6 年度	
有機 JAS 認証によるオーガニック米の生産面積	5ha	目	5ha	目	8ha	目	10ha
		実	5.5ha	実	—	実	—
オーガニック米の生産量	7トン	目	7トン	目	10トン	目	15トン
		実	21.5トン	実	—	実	—
新規加工品・特産品の数	0 アイテム	目	5 アイテム	目	15 アイテム	目	20 アイテム
		実	14 アイテム	実	—	実	—
米、牛肉、加工品、イチゴの総輸出金額	40,000 千円	目	42,000 千円	目	48,000 千円	目	50,000 千円
		実	58,116 千円	実	—	実	—

地方創生拠点整備タイプ（旧：地方創生拠点整備交付金）

事業①	天王小学校空き校舎リノベーション事業		担当課	商工振興課
計画期間	令和4年度	関連事務事業	シェアオフィス整備事業	
事業概要	<p>当市では「製造業」に重点を置いた企業誘致を進めてきた一方で、IT関連、研究開発など「先端産業」の誘致が遅れており、若年層の就職動向には「希望する職種がないために地元就職を諦める」一定の傾向が見られていることから、旧天王小学校の空き校舎において防火対策工事や空調設備等の増設を行い、「シェアオフィス型施設」として運営し、IT関連の先端企業の「企業誘致」を行う。また、誘致企業と市内企業とのマッチングを通じて多様な就労環境を創出し、将来的な若者のUJIターンや地元定着を図る。</p>			
実施概要 (実績)	R4年度			
	<ul style="list-style-type: none"> ● 建築改修工事…オフィス及び共用部の壁仕上げ材の改修、避難経路にかかる防火シャッターの改修 等 ● 電気設備改修工事…電力設備、動力設備、火災報知器の工事 等 ● 機械設備改修工事…空調設備、換気設備、衛生設備の工事 等 ● 建物警備設備工事（効果促進事業）…監視カメラ設置 等 			

重要業績評価指標 KPI（数値目標）	基準値	R4年度		R8年度	
入居企業数（累計）	0社	目標値	3社	目標値	8社
		実績値	7社	実績値	-
入居企業に勤めるUJIターン移住者の数（累計）	0人	目標値	3人	目標値	12人
		実績値	0人	実績値	-
市内で開業した(開業することが決まっている)入居企業の数(累計)	0社	目標値	0社	目標値	4社
		実績値	0社	実績値	-

事業②	大倉喜八郎別邸「蔵春閣」移築及び利活用による新発田駅前エリア活性化プロジェクト		担当課	みらい創造課
計画期間	令和4年度	関連事務事業	蔵春閣移築関連事業	
事業概要	<p>当市出身の実業家「大倉喜八郎」の別邸「蔵春閣」が当市に移築されたことを契機に、「動態保存」の考え方に基づき、「ひとの流れ」を創出し、「観光客・来訪者に楽しんでもらえる仕組みをつくる」ため、施設の利活用に必要な附帯施設を整備し、賑わい創出を実現する。蔵春閣と敷地内庭園を一体的に活用し、多くの人々が訪れる交流拠点施設とするため、施設の魅力向上、来訪者の利便性向上、バリアフリー対応に必要な整備、外構整備を行うとともに、必要な撤去工事や周辺の植栽、警備設備導入工事を実施する。 厨房機器やデジタルを活用した幅広い取組の実施に向けた備品類を導入する。</p>			
実施概要 (実績)	R4年度			
	<ul style="list-style-type: none"> ● 蔵春閣附帯施設整備…イベント利用に活用できる厨房、来館者用トイレ、蔵春閣本体と附帯施設を一体的につなぐ渡り廊下整備 等 ● 建築物と一体として活用される設備整備及び用地造成…園路整備、バリアフリー対応等のための舗装・縁石工事、植栽工事 等 ● 外構の整備…黒塀、四つ目垣及び入退場口の門扉の整備、機械警備設備や防犯灯を兼ねたライトアップ設備整備 等 ● 備品類購入…厨房機器等の導入、Wi-Fi環境整備及びWEB会議用機器等を導入 			

重要業績評価指標 KPI（数値目標）	基準値	R4年度		R8年度	
蔵春閣入込客数	0人	整備工事による 休館のため実績なし		目標値	24,000人
				実績値	-
駅前エリア来訪者数（※）	3,250人	目標値	5,000人	目標値	10,000人
		実績値	4,927人	実績値	-
蔵春閣を活用した民間主体の事業実施数	0件	整備工事による 休館のため実績なし		目標値	50件
				実績値	-

※企業版ふるさと納税「大倉喜八郎スピリッツ「進一層」で挑む、新発田駅前活性化プロジェクト（R2認定）」と同一のKPIであるが、本事業は新型コロナウイルス感染拡大後に認定を受けているため、当時の計画値から下方修正を行っている。

地方創生整備推進型（旧地方創生整備推進交付金）

事業①	持続可能な安心して暮らせる地域づくり計画			担当課	下水道課	
計画期間	令和2年度～令和6年度（5か年）	関連事務事業	新発田地区下水道整備事業、農業集落排水施設長寿命化事業			
事業概要	人口減少に対応し、農村地域の水質保全を継続することで、良質な農作物の生産基盤を安定させるとともに、他の関連事業とも密に連携を図ることで、持続可能なまちづくりや担い手確保などの農業振興を目指すため、公共下水道及び農業集落排水施設の広域化・共同化を実施し、併せて農業集落排水施設の機能更新、監視システムの統一を図る。					
実施概要 (実績)	公共接続 (4地区)	R2年度 2,038m	R3年度 1,309m	R4年度 1,381m	R5年度 -	R6年度 -
	農排強化 (2地区)	【石喜地区】 機能更新実施設計	【石喜地区】 機能更新工事	【石喜地区】 機能更新工事 【菅谷地区】 機能更新実施設計 機能更新工事	-	-

重要業績評価指標 KPI (数値目標)	基準値	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度		R6年度	
経営20ha以上の農地所有 適格法人数	46法人	目	46法人	目	47法人	目	48法人	目	48法人	目	49法人
		実	55法人	実	55法人	実	59法人	実	-	実	-
農業集落排水の維持管理費	75,666千円	目	75,666千円	目	75,666千円	目	69,466千円	目	66,366千円	目	60,566千円
		実	75,666千円	実	89,054千円	実	76,852千円	実	-	実	-

事業②	新発田市観光周遊ルートの形成による地域再生計画			担当課	地域整備課、維持管理課	
計画期間	令和4年度～令和8年度（5か年）	関連事務事業	市道改良整備事業、林道維持管理事業			
事業概要	新発田 I.C を起点に主要観光地を結ぶ市道外ヶ輪公園大手門線及び林道新発田南部線を整備し、観光周遊ルートを形成することで観光客の交通利便性を高め、市全体の観光振興を図る。					
実施概要 (実績)	市道外ヶ輪公園大手 門線事業進捗率 (事業費ベース)	R4年度 2.8%	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	林道新発田南部線 事業進捗率 (事業費ベース)	25.0%				

重要業績評価指標 KPI (数値目標)	基準値	R4年度		R5年度		R6年度		R7年度		R8年度	
市全体の観光客数の増加	2,652,861人	目	2,673,200人	目	2,680,000人	目	2,687,500人	目	2,695,000人	目	2,702,500人
		実	1,838,425人	実	-	実	-	実	-	実	-
新発田城の入込客数の増加	47,992人	目	48,375人	目	48,500人	目	48,625人	目	48,750人	目	48,875人
		実	46,274人	実	-	実	-	実	-	実	-

地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）

※寄附実績については、市ホームページにて公表の同意を得ている企業情報を掲載していますので、そちらをご覧ください。

事業①	大倉喜八郎スピリッツ「進一層」で挑む、新発田駅前エリア活性化プロジェクト		担当課	みらい創造課
計画期間	令和2年度～令和6年度（5か年）	関連事務事業	蔵春閣移築関連事業	
事業概要	明治45年、当市出身の実業家・大倉喜八郎が向島隅田川沿いに建設した別邸の一部『蔵春閣』が（公財）大倉文化財団から移築・復元を含め、新発田市に寄附されることとなった。大倉スピリッツ「進一層」の精神に基づき、『蔵春閣』という新たな市のシンボルを宝にして、市民意識の醸成と関係人口、交流人口の増加を図ることにより、地方創生を加速させる。			
実施概要 (実績)	R2年度	R3年度	R4年度	
	市民向け啓発映像の作成、市民等への普及啓発に向けたワークショップの開催、移築・復元過程の映像化の企画立案	蔵春閣移築工事完成までの工程を映像として撮影、SNSを活用した情報発信	蔵春閣移築工事完成までの映像撮影、工事用囲い・ヨリネスしばたを活用した写真展示、SNSを活用した情報発信	
	R5年度	R6年度		
	-	-		

重要業績評価指標 KPI (数値目標)	基準値	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度		R6年度	
駅前エリア来訪者数（※）	2,000人	目	3,000人	目	5,000人	目	7,000人	目	8,000人	目	9,000人
		実	3,250人	実	4,510人	実	4,927人	実	-	実	-
観光入込客数	265万人	目	265.5万人	目	266万人	目	267万人	目	268万人	目	268万人
		実	120万人	実	124.1万人	実	183.4万人	実	-	実	-

※本プロジェクトに関連した来訪者数に限る。

事業②	「公共交通」×「起業・創業支援」×「まちの顔づくり事業」で繋ぐ新発田市地域活性化プロジェクト		担当課	市民まちづくり支援課、商工振興課、みらい創造課、地域整備課
計画期間	令和2年度～令和6年度（5か年）	関連事務事業	コミュニティバス運行事業、創業支援事業、中心市街地エリア空き店舗利活用推進事業、中心市街地再開発等調査事業、市街地総合再生基本計画策定事業	
事業概要	「公共交通の充実」（買い物困難者を支える公共交通手段の整備・充実、利便性の高い待合所などの整備、地域の実情に応じた公共交通ルートの整備）、「起業・創業支援の充実」（各種支援制度の充実、空きビル・空き店舗対策、キッチンカー・移動販売など新たな創業分野への展開）、「中心商店街周辺のにぎわい・活性化」（遊休地などの利活用、居心地の良い空間・環境整備、まちづくりを推進する統一ロゴマーク作成などによるまちの魅力向上）の3事業を柱とした地域活性化プロジェクト			
実施概要 (実績)	R2年度	R3年度	R4年度	
	市街地循環バスの停留所に待合所やベンチを整備、創業支援制度の拡充、中心市街地活性化に向けた調査研究	移動販売事業を含む新規創業支援、中心市街地の賑わい創出等に向けたエリアマネジメント研究	市街地循環バスの車両更新や音声案内の追加、新規創業支援事業、民間主体の空き店舗リノベーションや情報発信の支援、中心市街地の賑わい創出に向けた調査研究、民間主導によるまちづくりを行政が伴走支援できるよう計画を策定	
	R5年度	R6年度		
	-	-		

重要業績評価指標 KPI (数値目標)	基準値	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度		R6年度	
あやめバスの年間利用者数	77,850人	目	78,100人	目	78,350人	目	78,600人	目	78,850人	目	79,150人
		実	63,905人	実	64,970人	実	67,068人	実	-	実	-
民間主体のイベント実施割合	79.0%	目	80.0%	目	81.0%	目	82.0%	目	83.0%	目	84.0%
		実	72.0%	実	23.0%	実	58.0%	実	-	実	-